

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2023
セッション1「気候変動を切り口としたESDの意義とひろがり」

趣旨説明

自己紹介

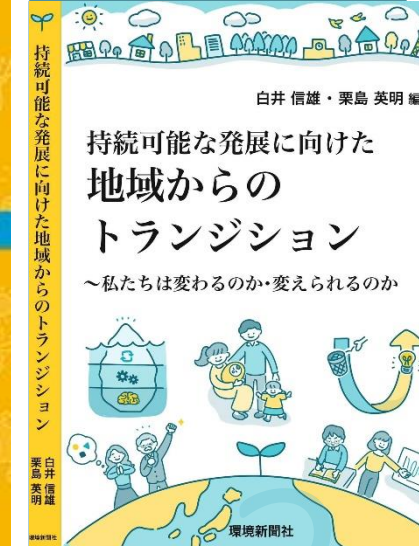
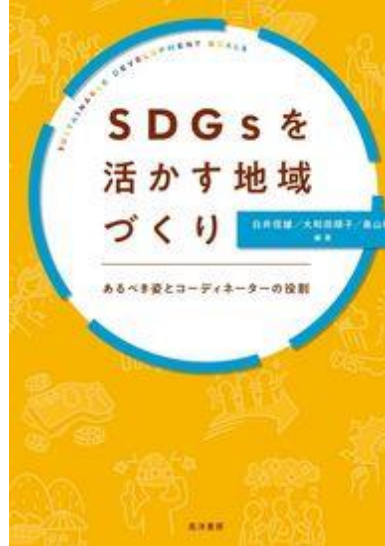
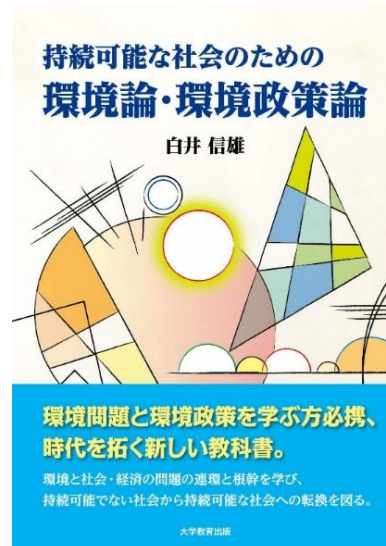
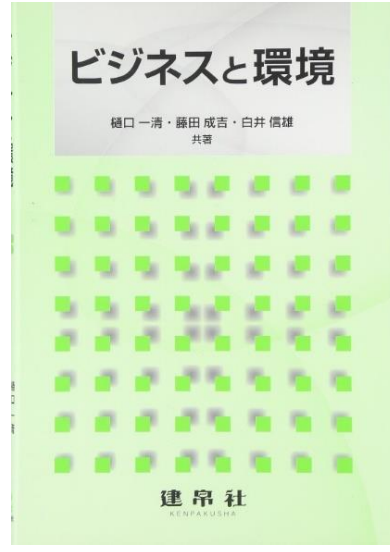
白井 信雄 (しらいのぶお)

- 所属: 三井情報開発株式会社 総合研究所 環境・資源領域リーダー
株式会社プレック研究所 持続可能環境・社会研究センター長
法政大学 サステナビリティ研究所 教授
山陽学園大学 地域マネジメント学部 教授を経て、
2022年4月から、**武蔵野大学工学部環境システム学科** 教授
着任(有明キャンパス勤務)。
- 出身大学: 大阪大学 工学部 大学院 環境工学専攻、博士(工学)
- 専門領域: 環境政策、持続可能な地域づくりの理論と実践
- 研究テーマ: 気候変動への緩和策・適応策と地域活性化の両立
SDGs未来都市、スマートシティ等の実践プロセス
社会とライフスタイルの転換に関する対話と共創

2023年4月より
サステナビリティ学科



2010年以降の単著・編著



キーワードで知る サステナビリティ

Key Words for Sustainability

武蔵野大学サステナビリティ学科【編著】



サステナビリティ(持続可能な発展)
SDGs
プラネタリー・バウンダリー
弱い持続可能性と強い持続可能性
システム思考
再帰的近代化・エコロジー的近代化
環境と経済・社会の統合的向上
ウェルビーイング
コンヴィヴィアリティ
社会的包摂
公正・公平
環境正義
レジリエンス
コモンズ
クリティカルシンキング
チェンジエージェント
自己充足
身体感覚
伝統知(在来知)
環境心理学

バーカルチャー
社会関係資本
人新生・脱成長・定常型社会
トランジション
ファシリテーション
リジェネラティブ
CSV
ESG 投資
エシカル消費
サーキュラーエコノミーとシェアリングエコノミー
拡大生産者責任
予防原則
バックキャスト
パートナーシップ
地域循環共生圏
流域圏
一場所多役
マイクロプラスチック
化学物質
グリーンケミストリー

リスク管理
気候変動と異常気象
温室効果ガス
脱炭素・カーボンニュートラル
気候変動適応
ヒートアイランド
ZEH・ZEB
再生可能エネルギー
LCA(ライフサイクルアセスメント)
3R(リデュース、リユース、リサイクル)
エネルギーセキュリティ
バイオマス
バイオマスエネルギー
バイオマスプラスチック
食料システム
ローカルフードポリシー
生物多様性
NbS(Nature based Solutions)
熱帯林とその保全
里山



武蔵野大学出版会

1.サステナビリティ共通

1.1 包括的な規範

サステナビリティ(持続可能な発展)

SDGs

プラネタリー・バウンダリー(地球の限界)

弱い持続可能性と強い持続可能性

システム思考

再帰的近代化・エコロジー的近代化

環境と経済・社会の統合的向上

1.2 社会面の規範

ウェルビーイング

コンヴィヴィアリティ(自立共生)

社会的包摂

公正・公平

環境正義

レジリエンス

コモンズ

統合的解決
同時解決

環境・経済・社会／
SDGsの様々なゴール

市民・行政・
企業・NPO

参加と協働
価値共創

課題解決・実践志向

社会科学と自然科学
・人文科学
／形式知と実践知

つなぐ・
つながる

将来世代と現在世
代／異なる世代と
世代

統合的アプローチ

文理融合
学際・越境

都市と農山村
／地域と地域

異なる前提や利害
を持つ人と人

将来予測
ビジョン共有

地域循環共生圏
関係人口創出

深い対話と理解
共感と内省

「気候変動の地元学」の実践経緯

環境研究総合推進費

□長野県**飯田市**における**公民館・NPO**での「気候変動の飯田学」の実施可能性の検討、NPOを中心とした試行(2014年度、4回)

□各地域での**地球温暖化防止活動推進員、行政庁内職員向けの研修**(気候変動への適応策を中心に、愛知県・鳥取県・宮崎県・沖縄県等10地域程度、2015～2017年度)各1～2回)

□神奈川県**相模原市藤野地区**の**まちづくりNPO**と連携した「気候変動の藤野学」の実施(2016年度、3回+シンポジウム)

□長野県**高森町**の**農家と地域資源である市田柿(いちたがき)**の気候変動適応計画の共創(2015～2017年度)

□岡山市内公民館への呼びかけ、**岡山市立富山公民館のESDの一環**としての気候変動をテーマにした未来塾(2020年度)

□岡山市に提案し、**岡山市の気候変動対策を担うフロントランナーの育成**(岡山市の予算:「気候変動のおかやま学」実践塾(2021年度))

□東京に戻り、**大都市圏独自の課題、都市と地方の連携に注目**し、「気候変動のえどがわ学」など(2022年度～)

適応

文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム」(SI-CAT)

適応
+
緩和

*参加者はリーダー層が中心、2020年には岡山県北の高校生による影響事例集めを実施

地域での施策・活動

例：気候変動の地元学（えどがわ学）

日本語版

江戸川区 水害 ハザードマップ

洪水・高潮



埼玉県方面の
浸水の外へ

茨城方面の
浸水の外へ

東京西部方面の
浸水の外へ

千葉県方面の
浸水の外へ

神奈川県方面の
浸水の外へ

江戸川区
ここには
ダメです

浸水のおそれがない
その他の地域へ

外国語版について

この江戸川区水害ハザードマップは、日本語版・英語版・中国語版・韓国語版の4種類があります。区役所本庁舎と各事務所で配布しております。また、区のホームページからダウンロードすることもできます。

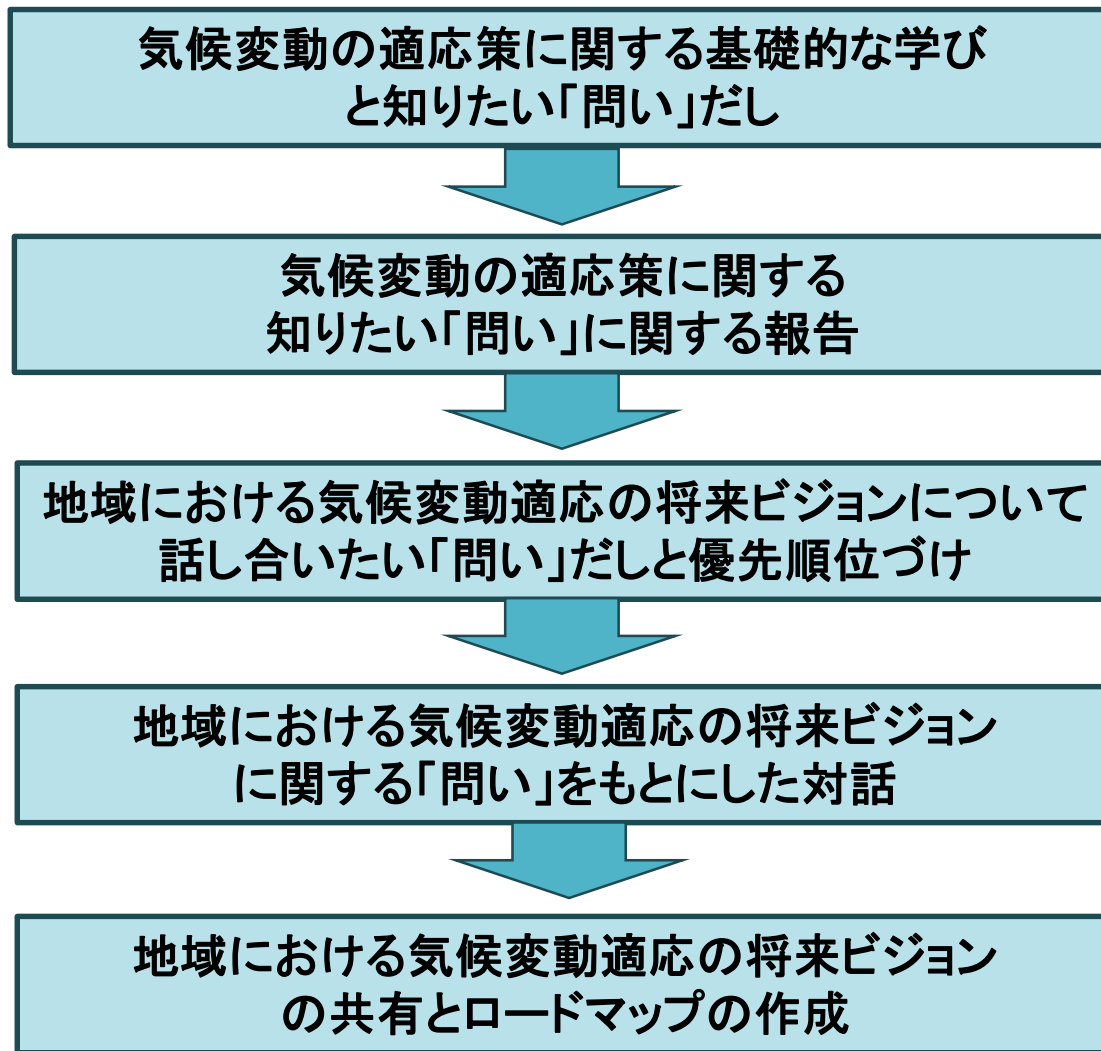
This Edogawa City Flood Hazard Map is available in four languages: Japanese, English, Chinese, and Korean. It can be obtained from the main building and branch offices of Edogawa City Hall. It can also be downloaded from the Edogawa City Official Homepage.

本江戸川区洪水災害地図有日文版、英文版、中文版、韩文版4类，在区政府主楼和各事务所均可领取。此外，也可从江戸川区网站下载。

본 에도가와구의 수해 해지드맵(재해예측지도)은 일본어판, 영어판, 중국어판, 한국어판까지 총 4가지가 있습니다. 구청 본청사와 각 사무소에서 배부 중입니다. 또한, 구 홈페이지에서도 다운로드 하실 수 있습니다.

この冊子には、音声コード「Uni-Voice」が奇数ページの左下、偶数ページの右下に印刷されています。スマートフォン専用アプリ「Uni-Voice Blind」などで読み取ると、ページに書かれている文章を音声で聞くことができます。

音声コード掲載



気候変動を切り口にしたESD ポイント

年代	気候変動の問題意識	気候変動への対策
1980年代	<ul style="list-style-type: none"> ● ちょっと前まで氷河期になるって言ってたけど、温暖化なの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● ちょっと、勉強から始めてみよう。
1990年代	<ul style="list-style-type: none"> ● 確かに1980年代後半から暑くなっているかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的な条約や国の計画や法律もできてきた、京都会議もあり、これは動き出すな。
2000年代	<ul style="list-style-type: none"> ● 2000年代は温度上昇は止まったようにも見える。高止まりではあるが。。 	<ul style="list-style-type: none"> ● チームマイナス6%という国民運動を楽しくやっぺいこう。気候変動対策を経済成長にもつなげよう。 ● 企業の対策は進んでいるが、民生や運輸部門の対策はまだまだ。
2010年代	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災と原発事故の影響が深刻、豪雨や猛暑が増えてきたかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災復興もあり省エネと再エネ普及は必須、その成果は出ているが、2℃目標が1.5℃目標になった
2020年代	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候の非常事態宣言やゼロカーボン宣言が活発になってきた 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2050年にゼロカーボン実現という野心的な目標に向けて、加速化していかないといけない
2030年代？	<ul style="list-style-type: none"> ？ そろそろやばいかも。ゼロカーボンは無理なんじゃない？国や専門家がなんとかしてくれ… ？ ゼロカーボンに近づいてきた、しかし脱石油はできないかも、水素の利用など急がないと… ？ ゼロカーボンをきっかけに、社会がよくなってきた。このまま、持続可能な発展に移行していこう… 	



気候変動教育が満たすべき要件

- ① **SDGsと気候変動対策を両立**させる理想の社会のための教育
- ② 社会転換のための思考を見につけ、**革新を生み出し、先駆けて実践**できる人の育成
- ④ 異なる価値規範を乗り越える**対話と共創**を生み出す教育
- ⑤ **緩和策と適応策(さらに両立策)**、**技術対策と根本対策**を体系的にとらえる教育
- ⑤ 地域の**気候変動政策の実践と連動**する教育システム
- ⑥ 発達段階にあわせ、**現場の教員が取り込める教育カリキュラム**

気候変動を切り口としたESD

- ① 気候変動を切り口に、不確実な社会とありうるシナリオに備え、**持続可能な社会の創り手**を育てる
- ② 気候変動を切り口に、**地域の課題から学びと実践**を連鎖させる
- ③ 気候変動を切り口に、**地域ESD推進拠点とともに社会を変革する基盤**を構築する

気候変動問題の解決

持続可能な社会のための教育

つなぐ・
つながる

持続可能な社会を目指す人づくり・地域づくり